

2021年11月8日

関係各位

有限会社 OCIA ジャパン  
代表取締役社長 丸山豊



## OCIA ジャパンの有機 JAS 認証業務の事業承継について

### 前略

関係各位におかれましては、当社の有機 JAS 認証業務にご協力いただき、誠にありがとうございます。ごぞます。

さて、この度、当社の親会社である米国の OCIA International の決定により、日本子会社である OCIA ジャパンの有機 JAS 業務を、2022 年 4 月 1 日付で一般社団法人日本農林規格認証アライアンス(以下、JASCERT)に、承継することになりました。

ご不便をおかけすることになりますが、承継は既存の包材をそのまま使用できるため、事業者様への影響をもっとも最小限にする方法となります。

以下、承継の概要についてご案内いたします。ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。  
草々

### 1. 事業承継とは

「承継」は、JAS 法第 18 条で定められた手続きです。承継は事業者の方が円滑にこれまでどおりの有機の生産・流通活動を継続できるよう、OCIA ジャパンの認証事業をまるごと JASCERT に移行するための手続きとなります。既存の認証事業者様は、新規認証ではなく、これまでの年次調査から検査を受けることで問題ありません。

また、有機 JAS の他、米国・カナダオーガニック認証の日本窓口業務、国税庁告示に基づく有機加工酒類の認証も JASCERT へ移管いたします。

### 2. 事業承継相手先の JASCERT について

正式名称：一般社団法人日本農林規格認証アライアンス 通称：JASCERT(ジャスサート)

所在地：〒143-0023 東京都大田区山王 2-1-8 山王アーバンライフ 1013 号

代表理事：丸山豊

ホームページ：<http://jascert.or.jp/>

JASCERT の代表の丸山は、有機 JAS 認証制度開始当初から有機検査員として業務を行っており、また業務スタッフも長年有機 JAS の経験のあるメンバーにより行っております。

承継を円滑に進めるため、丸山は 11 月 1 日から OCIA ジャパンの代表を兼務し、承継ま

での5か月間を通じて OCIA の事業者様の状況を把握し、スムーズな承継を目指しております。

### 3. 事業承継の時期

2022年4月1日

認証事業者様には10月上旬に本件のアナウンスをさせていただいており、約半年の事前告知により、事業者様の準備期間としての時間をとらせていただきました。

JASCERT への承継を望まない事業者様についても、その検討・判断のための時間として半年の時間を活用いただけます（実際の移行は、前回調査から1年後まで可能です）。

### 4. 現行の包材の使用について

有機 JAS ラベルのデザインは、4月以降も継続して「OCIA ジャパン」の名称を付した包材を使用することができます。

- それぞれの包材の次の表示変更がされるタイミングで順次「JASCERT」に改版をお願いすることになり、この名称のみの改版を求めることはありません。
- 輸出向け包材の取扱については、農林水産省に確認中です。
- 切り替え完了の期限について、特に法的な定めがありませんので、数年程度の包材の在庫があるものも、使い切るまで使用可能です。但し、数年後には整理が必要と考えておりますので、事業者の皆様への改版状況をお伺いしたうえで、切り替え期限を設定したいと考えております。

これから3月までに包材を新規に作成する場合は、上記を考慮いただいた上でお願いいたします。

### 5. その他

上記以外の移行に関する詳しい説明は、JASCERT の HP において承継に関する Q&A を掲示しております。そちらでご確認をお願いします。

URL：<http://jascert.or.jp/2021/10/21/01-12/>

本件に関するお問い合わせは以下の OCIA ジャパンの代表メールにお願いします。

e-mail: [ocia-jp@io.ocn.ne.jp](mailto:ocia-jp@io.ocn.ne.jp)

以上